

ShunReservoir

XML検索・集計パッケージ「ShunReservoir」

検索ツールの概念を変える “情報の見える化”を短期間、低コストで実現

圧倒的な検索スピードは、富士通のXML検索・集計パッケージ「ShunReservoir」の大きな特長の一つですが、さらに特筆すべき魅力として、XML技術を活用し部門にまたがる“情報の見える化”を短期間、低コスト、かつ容易に実現できることがあげられます。ライフサイエンス分野はもとより様々な企業の課題解決へ、ノウハウの標準化、データの整合性チェック等、新たなソリューションの可能性を拓きます。

一つの情報が企業生命を左右する時代

現在の企業経営では、迅速な意思決定、内部統制等への対応が必要な時代であり、一つ一つの情報の重要性が一層高まっているといえます。また、相次ぐデータ改ざんに対する社会的関心の高さからも、情報自体が企業生命を左右する時代の到来を垣間見ることができます。その一方、部門毎にシステムが乱立し情報が増え続ける現状では、必要な情報を速やかに見つけることは非常に困難です。こうした状況を打開する新たなアプローチがいま強く求められています。

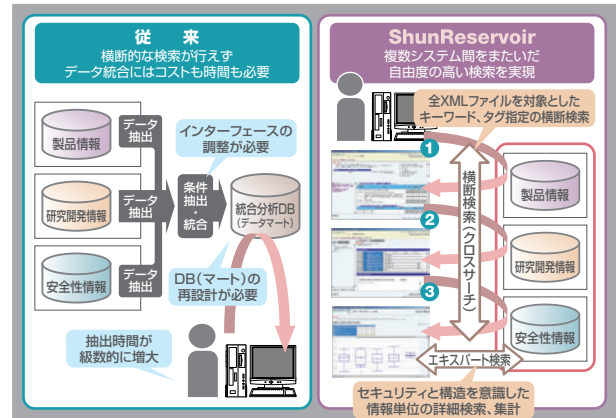
例えば、大手製薬会社A社様の安全性情報部門では、RDBの安全性情報を2,000近い項目から検索していましたが、日々、データ量が増大する中、汎用的な検索に多大な時間を要するようになり業務の停滞を招く要因に。また担当者が使用していた検索条件やスクリプトのメンテナンスを他の誰も行えないことも問題となっていました。さらに長期保管の観点や、XML化が進む製薬業界の状況を見据え、RDBの限界も感じていました。

人の健康に関わる安全性情報の活用は迅速性が求められることから、課題の解決が急務となり、A社様では課題の早期解決を図るべく富士通のXML検索・集計パッケージ「ShunReservoir」を採用されました。将来的には安全性情報に加え、製品情報や学術情報、治験情報等もXML化し、部門の枠を超えた全社的な情報統合の実現を目指されており、様々な検索条件で過去の情報を多角的に捉えなおすことでいままでにない視点での効能の発見等も期待されています。

A社様の「ShunReservoir」採用理由の一つは驚異的、圧倒的な検索スピードです。例えばRDBで10GBのデータ量の中から汎用的な検索を行う場合（索引キーを付与で

きないような非定型検索）、多くの事例では数十分～半日の処理時間を要していますが、「ShunReservoir」ならわずか数秒の処理時間となり、この時間差はコストに換算すればかなり大きな額となります。また難しいSQLを使うことなく、自由かつ簡単に検索条件式を作成できることから、検索業務の標準化が図れることもアドバンテージの一つです。長期保管や、部門にまたがる“情報の見える化”を容易に実現できる点（図）も大きなポイントとなりました。

■「ShunReservoir」を活用したイメージ



データの整合性チェック、 データのトレーサビリティへの活用

検索から集計、報告（オプション）まで一連の業務をサポートする「ShunReservoir」ならではのソリューションは、ライフサイエンス分野のみならず様々な分野の企業にとって課題解決の新たな選択肢となりえるものです。さらに従来の検索ツールの枠を超え、データの整合性チェック、人事情報への応用、内部統制ソリューションとして基幹情報の横断的参照等、様々な業務課題の解決を可能にします。ご導入にあたっては、まず最小構成（98万円）から入れて真価を確かめ、本格導入にステップアップしていくことも容易です。

詳しくは ▶▶▶ http://jp.fujitsu.com/about/journal/publication_number/306/products/shunreservoir/